

愛知県自然環境保全地域の概要



- ① 蓮華寺寺叢（あま市）
- ② 田之士里湿原（豊田市）
- ③ 小牧大山（小牧市）
- ④ 青鳥山（吉良町）
- ⑤ 吉祥山（豊橋市、新城市）
- ⑥ 伊熊神社（豊田市）
- ⑦ 小堤西池（知立市）
- ⑧ 大沼（豊根村）
- ⑨ 白鳥山（設楽町）
- ⑩ 茅原沢（岡崎市）
- ⑪ 沓町田湿地（武豊町）
- ⑫ 山中八幡宮（岡崎市）
- ⑬ 海上の森（瀬戸市）
- ⑭ 東谷山（名古屋市）
- ⑮ 砦山（豊根村）

愛知県自然環境保全地域は、自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例によって指定されるもので、すぐれた天然林や貴重な動植物の自生地など貴重な自然環境を有する地域を、私たちの共通の財産として、将来にわたって保全しようとするものです。

①

れんげじじそう 蓮華寺寺叢

所在地：あま市蜂須賀

—木曾川の自然堤防と常緑広葉樹林—

昭和50年1月31日指定

面積 (ha)

特別地区	普通地区	合計
0.32	1.89	2.21

蓮華寺は、木曾川の砂の堆積により形成された自然堤防の小丘に立地しており、今でも自然堤防の名残を見ることができます。

これらの小丘は、古くから安定した生活空間として利用されていたようで、濃尾平野の自然堤防上では、縄文時代から弥生時代にかけての遺跡が多数発見されています。

蜂須賀という地名は、弘法大師が毒蜂を封じ塚を築いたことに由来したと言われています。蜂須賀小六正勝のゆかりの地としても有名です。

古くからそのままの姿で守られてきた蓮華寺寺叢は、この地方が開発される以前の本来の自然植生を見ることができる森となっています。各地で開発が進む中、このような環境は貴重な存在となっています。

林内には、イチイガシ、シラカシ、クロガネモチ等の高木が自生し、樹齢も高く老木木となっています。



1



2



3



4

- 1：自然堤防の小丘
- 2：全景
- 3：蓮華寺
- 4：常緑広葉樹林